

月刊精華女學唱歌
鈴蘭樂譜
 全國高等女学校用

梅の巻
 特別号
 独唱曲
をさな兒
 犬童球溪作歌
 西歐名曲

をさな兒
 犬童球溪作歌

1
 黄金にも眞玉にもいかでかは比ぶべき
 めぐし此の子いとこの子いと／＼愛らし
 語る聲を脊にきけば笑ふ顔を膝に見れば
 現世の憂ひなやみ夢ときえて痕なし。

2
 山と積む寶とていかでかはまざるべき
 めぐし此の子いと此の子いと／＼愛らし
 胸に抱く花の笑顔 腋にすがる玉の腕……
 (見れば)を省略せり
 現世のなげきもだえ霧と消えてあとなじ。

「白がれも黄金も玉も何せんに
 まされる寶子にこかめやも」
 脊にきく 膝に見る 胸に抱く
 子を脊負ひ或は懷に抱き居る事
 腋にすがる 這つてすがること

主幹原田山古士
成樂會編

◎特選小學唱歌集なでしこ(全部伴奏附頗美本)(各、三〇)
 第四集(九月一日發行) □月の夜 □流れ星 □なぎ □つゆ □豊年
 第五集(十月一日發行) ○コスモス ○峠の上から ○初霜 ○太平洋 ○秋の野山

◎月刊特選新曲雜誌 會費半々年六十錢
 大團休半々年三十五錢
 每編小學校中等學校用の新題材數曲と東京音樂學校文部省檢定試驗手引、
 同試驗問題及其解答、和聲作曲樂式精義等金玉の文字を輯む

◎高等女學校秋季音樂會用名曲(各、一〇)
 △三部秋夜懷郷 △二部秋は來る △三部夜明けの富士 △三部晚秋山行 △獨
 唱白露 △獨唱さらば故郷 △獨唱月光 △獨唱晚秋 △獨唱玲瓏の曲 △二部
 み寺の鐘の音 △二部秋夜 △童謡霧が流れる △二部御代萬歲

◎この鈴蘭樂譜 梅の巻

九月號より大發展
 (各學校音樂會のために)

大正十四年九月一日印刷 【非賣品】
 大正十四年九月五日發行
 會費一部八錢送料三錢
 會費半々年分四十錢

編輯兼 原 田 彦 四 郎
 印刷所 樂譜印刷研究所
 右代表者 大橋 利 康
 福岡市大學通り二丁目

發行所 成 樂 會
 靜岡市東鷹匠町五二番
 振替名古屋一〇二四八番

東京 東京市外田端三丁目
 事務所 中井博士邸内原 田
 是非一度乞御照會

を さ な 兒
(獨唱曲)

犬童球溪作歌
四歌名曲

やはらかに

Piano *p*

mf カタ ル コエテ セナ ニ キケバ ヲラ フ カホチヒザ
むね に いたく は 一 なの ゑがほ わき に すぎるたま

p コガ ネニモマタ マニモイカ デカハクラ
やま とつむたからとていか でかはまき

ニ ミレバ コ ノヨハナ ウレヒナ ヤミユメ
の かひな こ のよハナ なげ き も だ え きり

アキメガ シコノコイト シコノコイト モイトモアイ ラ シ
る へきめぐしこのこいとこのこいと もいともあいら し

I
トキエテアト ナ シ と き え て あ と な

II